

京都

ろるつきまわりんぐ

季節はすっかり秋。木々の葉は赤へと衣替えをしようとしています。今回紹介するのは、京都の北に佇む知られざる紅葉スポット、岩倉実相院。その隠された魅力を、ぜひ味わってください。(ポコ)



岩倉実相院とは？

京都市の北部、一つ山を越えれば滋賀に至る京都と滋賀の県境、岩倉に、実相院はひっそりと立っている。

開基は今から約780年前、鎌倉時代の1229年。天台宗寺門派の門跡寺院(天皇家の血筋を引く人が代々住職を務めるお寺)として、応仁の乱をはじめ数々の戦火をくぐり抜け現在に至る。

「岩倉実相院」と聞いて「ああ、あそこか」とすぐに思い浮かぶ人は稀だろう。確かに実相院には、嵐山や銀閣寺といった、京都を代表する秋の風光明媚な観光スポットのような賑わいはない。しかし、いや、だからこそ、そこには観光客の雑踏と手垢にまみれていない寺本来の魅力がきわだっている。院の周辺には、参拝客目当ての土産物屋や飲食店等は一切ない。岩倉を訪ねると、実相院はのどかな田園風景の中であって、静謐で凛とした姿を私達に見せてくれる。

床紅葉と枯山水

ひっそりとした院内を奥に進むと目に飛び込んでくるのが、院の見所の一つ、「床紅葉」だ。庭園を彩る真紅の紅葉を映し出した黒光りの床の美しさには、思わず息を吞んでしまう。



◀ 実相院名物「床紅葉」。謔面は白黒なので、表紙を参考にしてほしい。

さらに院の中には、狩野派の襖絵や、260年にも及ぶ世の動向をつぶさに書きとめた実相院日記など、興味深い寺宝が揃っており目を楽しませてくれる。

さて、ひととおり院を見て回った後は、枯山水に面した縁側にゆっくりと腰掛け

▶ 枯山水。夜間特別拝観時には、紅葉とともにライトアップされる。

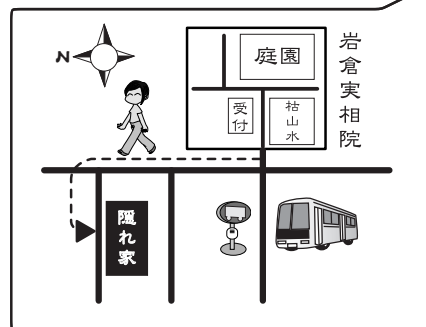


てみることをおすすめする。世の喧騒から切り離された空間に身をおくと、ゆったりとした時間の中で優しい気持ちになることができる。

岩倉具視の隠れ家

実相院を出て右手に折れると、すぐそこは岩倉具視の隠れ家である。岩倉具視は1860年の桜田門外の変の後、公武合体を進めるため和宮降嫁を促したことで、尊皇攘夷派に佐幕派とみなされた。そこで一時身を隠すため、実相院のすぐそばに幽居していたのである。

実相院を訪れたら、ぜひとも岩倉具視の隠れ家にも足を伸ばしてみたい。古き明治の面影を垣間見ることができる。



拝観案内とアクセス
 拝観時間：9:00~17:00
 ※11月15日(水)~30日(木) 夜間特別拝観として、紅葉・石庭をライトアップ。拝観時間は18:00~21:00(17:00~18:00は閉門)
 拝観料：500円
 電話：075-781-5464
 URL：http://www.jissoin.com/index.html

散電岩倉駅から徒歩二十分
 ・京都バス岩倉実相院下車すぐ
 ・京都市バスから自転車で白川通を北上して四十分

至出町柳
 岩倉駅
 国際会館駅



はみだし
すてーじ

「Runeis」って何語でどんな意味ですか？

⇒新店舗がオープンしたとき、「再生」の願いを込めてルネッサンスから店名を「ルネ」にしたと聞いたことがあります。

(法・5 有信太郎)

(語源マニア!?! ; 編)